

公の施設指定管理制度導入に対する評価

評価期間:令和6年4月1日～令和7年3月31日

施設名	徳島市立親子ふれあいプラザ		
指定管理者	徳島市勤労者福祉ネットワーク	担当課	子ども未来部子育て支援課
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	公募・非公募の別	公募
施設の所在地	徳島市沖浜東2丁目16番地ふれあい健康館1F		
施設の概要	・開館日時:火曜～日曜日9時～17時半(日曜日のみ9時～17時) ・休館日:月曜日、12月28日～1月4日 ・遊戯室きりんルーム(101.03㎡)、ひよこルーム(48.47㎡)事務室(19.89㎡)。授乳室(7.94㎡)。倉庫(15.01㎡)。その他(57.31㎡)	事業の概要	・主に乳幼児とその保護者を対象として、いろいろな遊びや子育て講座を通じて、子育て中の親子同士の交流を図る。 ・子育てに関する不安や悩み、ストレスの解消を図るため、子育て相談を実施。

	項目名	令和5年度	令和6年度	項目名	令和5年度	令和6年度
利用状況に関する事	利用者数等	31,065人	27,934人	自主事業参加人数	3,179人	3,099人
	事業開催数	109回	112回	提案事業参加人数	3,535人	3,035人
	相談件数	102件	297件			
収支状況に関する事	指定管理料	18,738千円	18,738千円	人件費	15,033千円	14,670千円
	利用料収入	0千円	0千円	管理費	4,391千円	3,985千円
	その他収入	765千円	0千円	その他	266千円	83千円
	収入実績(総額)	19,503千円	18,738千円	支出実績(総額)	19,690千円	18,738千円

評価基準・評価項目		指定管理者自己評価コメント	担当課評価
施設管理体制	(1) 法令等遵守	法律厳守し、業務を遂行した。 正規職員4名、パート2名配置した。年間16回の職員研修を実施し、合計27名の参加となり、スタッフのスキルアップや資格習得に繋げることができた。木球プールを設置することにより、子育て世代が木の魅力や優れた性質の理解を深める事が出来た。設備に不具合があった場合、行政、又はファミサポに連絡、修理依頼し敏速に対応できた。年間2回、消防設備の点検と害虫駆除。遊具の点検は開館前、閉館後入念に確認。緊急時のマニュアルを整備し、具体的な手順や各担当者の役割を再確認した。	A
	(2) 職員配置		
	(3) 職員研修		
	(4) 利用促進の取組み		
	(5) 設備・備品管理		
	(6) 安全管理体制		
	(7) 緊急時の体制		
業務 利用者に関する	(1) 利用状況	親子ふれあいプラザだよりの発行、ホームページによる情報発信、リーフレットの製作と広報活動等を行い成果をあげることが出来た。入館しやすい雰囲気づくりに努め、保護者が大変そうな時には声掛け、手助けをした。個人情報においては適切な管理の下業務をした。相談業務では守秘義務を守り、必要時は他の支援機関を紹介した。年度末には、利用者アンケートを実施、サービス向上にも繋がった、	A
	(2) 平等な利用		
	(3) 利用料金		
	(4) 接客対応		
	(5) 個人情報保護		
	(6) サービス向上の取組		
施設管理 業務維持	(1) 保守点検業務	トイレ及び館内の清掃は業者に委託し、履行されていることを確認している。年2回の室内のワックスがけと、遊具、遊びスペースの消毒は毎日実施。	A
	(2) 清掃等維持管理業務		
	(3) 修繕等維持管理		
事実業 実施	(1) 企画運営事業	提案した事業全てにおいて、滞りなく実施できた。	A
	(2) 自主事業		
経理 状況	(1) 施設収支状況	適切な経理処理を行った。廃材遊び、廃材を使った製作を行うなどして、物を大切にすることを養うと同時に、経費削減にも繋がった。	A
	(2) 指定管理者経営状況		
	(3) 経費の縮減		
評価基準		S:優れている（協定書、仕様書、事業計画書より優れた管理が行われた。） A:適正に管理されている（協定書、仕様書、事業計画書に沿った管理が行われた。） B:一部に改善を要する（協定書、仕様書、事業計画書に記載の一部が実施されなかった。） C:多くに改善を要する（協定書、仕様書、事業計画書に記載の多くの内容が実施されなかった。）	

担当課総合評価コメント		総合評価
指定管理2年目です。昨年度より利用者数等が減っているのが気になりますが、現場では試行錯誤している様子が伝わり、今後も利用者が増えるような試みの継続と、利用者の分析をしていただくことで、利用者の増加に努めていただきたいです。相談件数は増加しており、子育てに悩む保護者の支援ができており、今後も利用者へ寄り添った運営をお願いします。		A
総合評価基準	S:優れている(各評価基準ごとの担当課評価にSがあり、その他はAである。) A:適正に管理されている(各評価基準ごとの担当課評価が全てAである。) B:一部に改善を要する(各評価基準ごとの担当課評価にBがあり、Cはない。) C:多くに改善を要する(各評価基準ごとの担当課評価にCがある。)	